

正 観

2019. 7. 18 発行

(無情の現象界の奥に恒常不変の本体的、理念的なものを正しく心に写し対処する)

会 長 遠藤 勝雄 ・ 幹事長 三條 貞夫 ・ 事務局長 遠藤 近志

梅雨明けが待ち遠しい今日この頃ですが、皆様には益々ご健勝のことと存じます。

東北地区クラブは年間5回の開催ですが、交通の関係で宿泊を伴い2日間に亘るのが恒例となっております。毎回、遠藤勝雄範士初め指導陣のご指南により、稽古会、講習会、審査研修会が充実したものとなっております。また、宿泊先の温泉で郷土料理とともに参加者持参の各地の銘酒をいただきながらの剣道談義は、一段と熱気を帯びた研修モードとなります。

今回の米沢市例会には川瀬会長初め多数の関東地区クラブの先生方にご参加いただき、大変有難うございました。お陰様でこれまでにない参加者数となりました。

今後とも当地区クラブの充実と共に各地区クラブとの交流事業なども計画してまいりますのでどうぞ期待ください。

NPO 法人 国際社会人剣道クラブ
東北地区クラブ幹事長 三條貞夫



1 山形県米沢市例会の報告

6月29日(土)、30日(日)の2日間、山形県米沢市の三條かの記念館及び小野川温泉やながわ屋旅館において東北地区クラブ例会を開催いたしました。関東地区クラブから全国会長の川瀬能男八段をはじめ入井徳明八段、細木宏先生、堀井秀一先生、小川徹先生、弓場愛翔先生、村田友里先生、新潟から佐藤伸八段、斎藤実先生、板垣邦夫先生、山田久仁彦先生、埼玉から長尾士郎先生、また地元の先生方も多数ご参加くださり42名という沢山のご参加をいただきました。これは東北地区クラブの例会始まって以来の大人数でした。関東地区クラブからは3年連続でのご参加でした。新潟の佐藤先生は前

日ご体調が万全でないご様子だったにも関わらず当日はお元気に熱心に御指導くださいました。お陰様で遠藤勝雄会長が述べられた通り、内容豊かな素晴らしい例会になりました。長雨で湿度の高い気候でしたが空調のきいた快適な素晴らしい会場をご高配いただきました三條貞夫先生に心より感謝申し上げます。



初日は相互の周り稽古の後、遠藤会長、佐藤孝康八段、三條八段、川瀬八段、入井八段、佐藤伸八段に元に立たって頂き指導稽古を時間いっぱいに行いました。参加者の気が充満した熱気あふれる稽古となったのは言うまでもありません。

2日目は審査研修です。遠藤会長、川瀬八段には8段受審の皆様を、入井八段、佐藤八段、三條八段には6、7段受審の皆様をご指導いただきました、毎回、一人一人に対して丁寧に課題のご指導、悪癖のご指摘、本番で良くなって欲しいと言う想いに心より感謝申し上げます。

◇8段受審の会場では

- ・手打ちになっているから冴えた打ちにならない。その場打ちだから打ち切りがない。打った後、体を寄せていく等位詰めが必要だ、残心につながる。
- ・相手を見ないで自己都合で打っても技は決まらない。無駄打ちが多くなる。

◇6、7段受審者には

- ・しっかり攻めて良い所で有効打突になる打ちを打ち切ること。
- ・待ち剣は駄目、自分で機会を作る。相手を攻めて相手を遣うこと。打ち急がない。

遠藤会長が常におっしゃっておられるようにご指導いただいたこと、学んだことを頭で理解するだけでなく普段の稽古で意識して実際に具現化出来るように鍛錬と工夫を重ねていかなくてはならないと改めて思いました。

その後八段の先生方に基に立っていただいたの指導稽古とお互いの自由稽古で時間があっという間に過ぎてしまいました。



皆様のお陰で大いに研鑽を積むことが出来ただけでなく交流を深めることができ、充実した例会となりました事を改めて感謝申し上げます。

2 米沢例会 懇親会

初日の稽古の後は蛍が舞う最上川源流の河畔に位置する小野川温泉のいで湯にゆったり浸かって疲れを癒し、美酒で英気を養いながら剣道談義で大いに盛り上がりました。関東地区クラブの先生方、さらに久しぶりにご参加の庄子敬一先生、小畑新也先生の笑顔も見えます。膝を突き合わせ盃を傾けながら遅くまで話は尽きることがありません。まさに第二道場、楽しくて為になる話を沢山伺うことができました。



宴の席上、初参加の渡邊智昭先生（岩手）のご紹介とご挨拶がありました。また、新会員の三條祐介先生（三條先生の長男、37歳六段）の紹介が抜けてしまいました。次回の例会で改めて紹介させていただきます。紙面をお借りしお詫び申し上げます。続いて韓国社会人剣道大会に出場される先生方のご紹介と激励もあり、西口晃先生、菅野由里子先生が代表して決意表明を述べられました。



東北地区クラブからの参加者は次の先生方です。（敬称略）
曾根孝悦（監督）、西口晃、文載圭、渡邊一仁、古濱久美子、菅野由里子、及川成美

（1）参加者（敬称略・順不同）

宿 泊；遠藤勝雄、佐藤孝康、三條貞夫、渡邊智昭、矢作和雄、工藤一男、庄司敬一、阿部東悦、阿部東司、遠藤近志、小畑新也、西口 晃、佐藤弘明、細矢国昭、種村信行、三條祐介、平子雅道、小淵俊江、渡邊一仁、小林房雄、菅野由里子
江俣和代

関 東；川瀬能男、入井徳明、細木 宏、小川 徹、堀井秀一、弓場愛翔、村田友里
会員外；長尾士郎

稽 古；三浦 均、井上 均

新 潟；佐藤 伸、斎藤 実、板垣邦夫、山田久仁彦

地元の先生方多数

地区例会の内容についてのご要望やご提案をお寄せください！

たいと考えております。 全国例会や海外交流事業と積極的に参加し、グローバルに交剣知愛を深めましょう。

IGKC の垂れネームとウィンドブレーカーを希望される方は事務局長まで連絡してください。垂れネームは 3,900 円、ウィンドブレーカーは 3,500 円となります。多少時間を要しますのでご承知おき願います。

編集後記

令和初回の地区例会は会員の先生方をはじめ、遠方から、そして地元からも大勢の先生方にご参加くださり大いなるお力をいただきました。「交剣知愛の輪を広げ切磋琢磨しながら剣道の質を高めましょう。」という会長のご挨拶で始まったこの例会を振り返りながら「学んで時に之を習う。亦説ばしからずや。朋遠方より来る有り。亦楽しからずや。」という『論語』の一部分が浮かんでまいりました。

常々会長がおっしゃっておられますように、学んだことがいつか身につくまで自分のものしようと努力を積み重ねていくことが大切であり、私達はその過程に喜びを感じ、継続していくことで人格の形成につながってもいくのかもしれませんが。自分と同じ志や目標を持った方々がいて近くからも遠くからも剣道を通して出会いを得ることが出来たことの喜びと、何を学び合いどう磨き合うのかという緊張感を感じることができた事に感謝申し上げます。

(江俣和代)

